

ごあいさつ

ぎふの木ネット協議会 会長 吉田芳治

ESG経営とは（未来を見据えた持続可能な経営戦略） ～自然、社会、ビジネス、地方創生 との調和～

先般「ぎふSDGs推進パートナー登録証授与式」なるイベントが岐阜県庁にて催され私も出席いたしました。中小企業は国内に336万社あり企業総数の99.7%を占めております。故に中小企業が、挑戦心を持ち、大企業並みの生産性を持つことが地方の活性化の為に必要となります。



ESG経営



ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(統治)の頭文字を取って作られた言葉です。目先の利益や評価だけでなく環境や社会への配慮、健全な管理体制の構築などによって持続可能な発展を目指すことをESG経営と言います。

「中小企業の差別化戦略こそがESG経営」

ESG経営とは、中小企業より大企業がむしろ取り組むべきであると思っておりましたが、今回の活動紹介として2社が紹介されどちらも地元の中小企業でした。

1 社目は山県市のMバルブ工業

この会社は創業1951年で社員数58名、規模的には典型的な中小企業ですが社長も若く会社の目指すところが明確にされており、組織的にもしっかりした会社である印象を受けました。まず経営方針として「良い社風を創る」……人を大切に作る経営が中核となっており、ビジョン、ミッション、バリュー、パーパスが整備されています。

特にパーパス(存在意義)として

「あなたで本当によかった！」と日本で一番喜ばれる数の多い水廻りブランドメーカーになる と 日常の考えが素直に表現されていました。

- 会社の強みとして
- 生産スピードの対応力
 - 極小ロット対応力
 - 素早く動く顧客対応力

で、付加価値向上や差別化戦略が見てとれます。またCO₂の排出量の算定も実際行っており、2030年目標を7年前倒しで達成されています。

社用車のハイブリッド化や太陽光パネルの設置も実施され脱炭素化にも前向き。

さらに、年間休日123日、社員平均年齢35才。

地方にあり人が集まってくる魅力的な会社でした。



2 社目は岐阜の老舗ゼネコンN建設

次は創業77年で社員数107名の地場ゼネコンさんです。

2020年 SDGs推進チーム発足

21年 SDGs宣言を発表

22年 個人のカイゼン提案にSDGsの評価を紐づけ

女性社員の戦力化に向けたセミナー → 女性活躍企業の認定 等の活動をされていました。

特に印象に残ったのは、今後、新設住宅建設の減少を見越した独自の戦略として「再成建築」の取り組みです。

ぎふの木ネット通信

2024.12



ぎふの木ネット協議会



一般住宅でも新設住宅の減少が現実化しており先読みできる企業はリフォームやリノベ事業に進出しております。「再成建築」は特に古くなり耐震基準に疑問が残る、RC造り建築物をチェックし耐震性のみならず省エネ性能も向上させるもので、木造に比べ技術的ハードルも高く、取り組んでいるゼネコンはまだ少数であり、今後古いビルがどんどん増え需要は大きく増加すると考えられます。

今後新社屋をZEB(ネットゼロエネルギービル)として建設される予定との事。

また面白い活動としてプロジェクトチームが10チームほどあり社員はどこかのチームに入らなければならず業務改善計画も定期的に提出され全社員の工夫がシステム化されています。

このプロジェクトチーム方式は弊社も来期から実施すべく課題別に9つのチームが発足しました。同時並行的に活動し、より全社的よりスピード化を狙った仕組みであり、共感をいたしました。

次に博報堂、SDGsプロジェクトから <SDGs、ESG時代の企業経営の実現>



現在

財務(利益)情報の開示

今後

非財務(環境面、社会面)の情報の開示が求められる
若い人ほどSDGsに対する認知度が高い

環境社会課題解決は

- A 「価値創出」の機会
- B コストの対象
- C 企業の問題でない

「創り出したい未来の社会の姿」と「その社会における自社の「役割」」を

企業として事業を通じて
どのような社会を創り出したいのか？

ブランド独自の強みや資産、商品、
サービス、ビジネスモデル

宣言すること

Big Well Being に向けて

Well Beingはよく聞く言葉です。健康、幸福、福祉などに直訳されます。簡単に言うと心身だけでなく社会面も含め満たされた状態のことで、1人1人に幸せの実感があります。

今後更に個人だけでなく組織、社会、地球、環境共が良い状況であること、

つまり **SDGs+Well Being = Big Well Being** こんな価値観が主流になる可能性も！



それでは ぎふの木ネット では

ぎふの木ネットは、基本的テーマとして「山を守る」「人を守る」「技術を守る」「ITでイノベーション」「地球経済の活性化」こんな考え方の下でスタートしました。

ビジネスだけが成功すればよいという事ではなく、そこには

「自然」「人」「社会」「ビジネス」「地方創生」との調和をどの様にとって行くかという事であると考えます。

現在の新しい取り組みは…まずリノベ部会

まず半年ほど前にはじめての専門部会としてスタートを切ったリノベ部会です。今後、新築住宅の減少が予測される反面、空き家の急増や、耐震リフォームへの対応から社会課題ををビジネス化する意味でスタートしました。5社ほどの会社を中心に動き出しましたが、単なる勉強会ではなく、目指すのはビジネス化です。参加各社の熱量も大変高く、現在4ヶ月ほどのワンクールの中で具体的な施工方法や問題点を学んでおります。各社の横の連携もとれて



おり、10月早々には全員で北海道でのリノベ先進地域での現場研修が行われる予定です。

今後第一期生の研修が終われば次の第二期生の募集が始まります。

これからの新しい需要獲得に向け皆様といち早く活動しビジネスの基盤をつくりたいと思いますので是非ご参加をお願いします
(ぎふの木ネットメルマガ No.64より)



ぎふの木ネット協議会



ぎふの木ネットの原点と新たなる進化！！

岐阜の木の子カラで地方創生

木々たちは守り続けてきた。何十、何百、何千年と。
土に根を張り、森を創り、ある時は災害から、またある時は大気汚染から。
私たちを守っているのはいつも彼らだった。

だから次はあなたの番だ。

岐阜の木を使い家を建てよう。
そしてまた木を植え木を育てよう。
その循環が私たちの暮らしを、安全を、健康を作っていくのだから。
地位の森を使うこと、それは私たちの暮らしを守ること。

夜明け前の漆黒の闇から光あふれる世界へのほんの一瞬青く染まる幻想の森。
……わが郷土、岐阜にはこんな森がたくさん存在します。
森と人が共生できる循環型の世界を目指そう。
脱炭素化と人々の健康を切り口に、岐阜の木で地域の活性化を実現しよう。

社会課題に対しての

ぎふの木ネット の取り組み

地震対策

省エネ

運べる家 | フォーラム開催 | 住宅開発



応急仮設住宅や店舗にも



県内の学術機関と連携し、各種研究を進めており、省エネ性能が高く災害に強い住宅開発をしています。

DXの推進

モクタウンの運営



詳しくはこちら

AI技術を取り入れたデジタル住宅展示場「モクタウン」を運営し、県産材活用のために、各種情報を発信します。県産材を使う地域のビルダーを紹介。

空き家対策

グリーンリノベ部会



急増する空き家に対し「空き家にしない」「空き家を活用」できる取り組みを考えています。

職人不足

だいくエイド



必要な時に必要な職人を供給できるネットワークを作っています。

健康寿命の伸長

眠りの研究



木質空間と眠りの研究、木の香りが体に与える影響を研究しています。

カーボンニュートラル

都市の木質化 | サプライチェーン強化



サプライチェーンを構築し、都市部の企業の木質化事例を増やしています。

地方創生

異業種とのタイアップ



木と異素材を組み合わせた新しい付加価値（ブランド）の創出を行っています。



ぎふの木ネット協議会



フォーラムの内容

11月29日(金) ぎふの木ネットフォーラムを開催いたしました。今年に2回ほど全会員対象のイベントを行っております。今回は来年度4月より大きく変わる省エネ基準の義務化について森林文化アカデミーの辻先生による特別セミナーを実施しました。更にセミナーの内容を取り入れた、高性能な住宅モデル(ぎふの木ネットモデル)と使用資材の詳細についてもご案内いたしました。このモデルを参考にいただきビルダーさん独自のモデルを作りたいと思います。そうした事へのお手伝いする事が私たちのミッションでもあります。



会員表彰

今回の新しい取り組みとして会員表彰も行いました。受賞者には賞状と県産材のナラで作った記念の盾を贈呈しました。



県産材を最も多く使用されたビルダーさんやVR展示場で情報を一番多く発信していただいた工務店さん等多くのジャンルで表彰させて頂きました。

また本年専門部会としてグリーンリノベ部会を発足させましたが、半年ほどの間に多くの講習を実施し知識レベルの向上と共に、夏に北海道への現場視察も実施し、具体的な技術レベルの向上も実現されました。第1期生の方々は未知の海へ飛び込むファーストペンギンの様にチャレンジ精神と卓越した行動力を発揮されました。最終試験にも合格され、見事リノベソムリエとしての称号も獲得されましたことについて改めて敬服の意を表します。

今後2期生の募集もほどなく始まりますが、多くの方がこうした資格のもとで大型リノベや空き家の改修などの工事に取り組めば、社会課題である空き家問題に対し当協議会も一歩を踏み出せるわけです。

次は非住宅部会

先に大きく伸びる分野として脱炭素化やSDGsの流れの中で都市の木質化の流れで、構造は木と鉄やコンクリートといったハイブリッド型、また内装については木材を主として使われる物件が増えてきています。時代の流れを先回りして新たなビジネスを創出しようではありませんか。近日、非住宅部会をスタートさせます。新しいビジネスモデルにご一緒にチャレンジしませんか。

新たな進化・・・今回のフォーラムより

今回フォーラムの基調講演として、岐阜県立森林文化アカデミーの辻先生にお話しいただきました。

心地よいエコな住まいのつくり方 これがテーマです。

現在のエコハウスは断熱の性能のみで評価されています。ガチガチの性能住宅より、適度な温度ムラはむしろ心地よさといった発想で、完璧な快適さより心地よさを目指すべきとの事でした。トータル的な心地よさを求める条件として 景観(地形や眺望、樹木、河川)や 自然(日当たり、風向き、植物)そして 人文(街並み、石や土などの素材・電気・上下水などインフラ、治安)などの要素も含めるべきかと。なるほどと感心しました。

パッシブデザインのすすめ

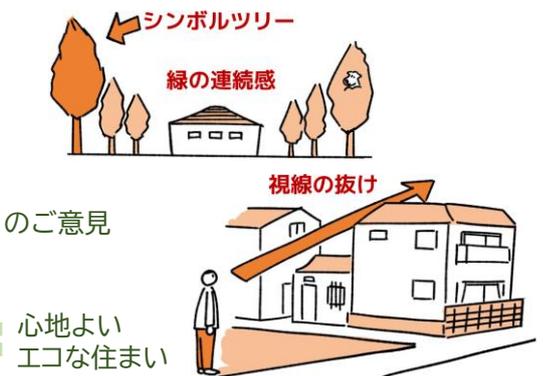
先生はパッシブデザインのすすめとして暖房機の日射熱取得も大切だとのこと

パッシブデザイン

つまり **建築デザイン** (パッシブな建物) + **暮らし方** (アクティブな暮らし)

設備デザイン

高効率設備 創エネ



心地よい
エコな住まい

温熱性能はどこまで目指す？

今回のフォーラムのポイントです。

- 断熱等級7 HEAT20G3相当
- 6 HEAT20G2相当
- 5 ZEH基準(2030年義務化)
- 4 省エネ基準(2020年義務化)

結論

数十年先を見据えた性能を確保する観点から等級6を目指すべきとの考え

また高断熱+日射熱取得で暖房エネルギーを半減という点も取り入れるべき

・・・約90分のご講演時間が大変短く感じました。



今回フォーラム参加者の声

フォーラムにて参加者にアンケートをとりましたが、辻先生のご講演に対して、大変高い評価を頂きました。

資料がわかり易く内容が理解しやすかった。
人の心地よい住まいの考え方が変わりました。断熱等級のことも良く分かりました。ものすごくわかりやすく、勉強になりました。

様々な制度がでてくるなかで、イラストふくめての説明でわかりやすかった。
建てる家での目標・理想を見据えて作っていく中で快適な家・生活で作ることができる事が理解できました。

エネルギーを数値化し、提案につなげていくことで、お客様もイメージがつきやすくお客様の為の提案が可能で素晴らしいと思いました。

断熱についてこれまでは、断熱材を入れるだけで問題は解決かと思っていたが、実際には窓も大きくするなど、日中の日差しを大事になってくると知り、窓を南側で大きくすることが大切だと知った。

ぎふの木ネットの 目指すところ

講演会やセミナーは手段であり、目標とする所は、それぞれのビルダーさんや工務店さんに合った仕様をご一緒になって創り、県産材を利用しリーズナブルにご提供できる仕組みをつくる事です。そこに地域のビルダー、工務店さん **百花繚乱** の実現があります。

(ぎふの木ネットメルマガ No.65より)

「顔の見えるぎふ県産材 つながるシート」を発行します

この度、ぎふの木ネット仕様(岐阜県産材を60%以上活用した物件「ぎふの木ネット認定住宅」)で建てられたお施主様に、関連企業の思いを伝え興味を持っていただく為「顔の見えるぎふ県産材 つながるシート」を発行させていただきたいと思っております。

木材使用量を明示し、物件に関わった「製材所」「プレカット工場」「工務店」各業者のメッセージを記載したこのシートを、希望者に該当物件完成後、木製フレームに入れて協議会より進呈させていただきますので、お施主様へ引渡し式の記念品の1つとしてぜひご活用ください。



ぎふ木遊館 企画展示

ぎふの木ネット協議会として、企画展示させていただく機会がございます。ぜひ、ぎふ木遊館さまへ足をお運びください。

期間:令和7年 1月11日(土)~ 2月 2日(日)

場所:ぎふ木遊館

住所:〒502-8503

岐阜県岐阜市学園町2-33

展示内容などは
決まり次第
ご案内いたします



ぎふ木遊館さまHPより館内MAP

令和7年度 イベント予定

令和7年度行事予定についてお知らせいたします。

ぎふの木ネット特別フォーラム

R7年 7月25日(金)

R7年12月 4日(木)

詳細につきましては、
日付が近くなりましたら
またお伝えいたします。



ぜひとも
ご予約くださいますよう
お願いいたします。



©岐阜県 清流の国ぎふ
ミナモ#0862

会員の方への情報を募集します

会員の皆様へのご報告として、ぎふの木ネット通信を発行し(年6回程度)、協議会の活動報告などをお伝えしていきます。

今後は会員の皆様同士の情報共有を図るために、皆様からの貴重な情報を頂き、その情報を会員の皆様へ周知したいと考えております。

展示会や近況など、お知らせしたい内容がありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。

(チラシなどの印刷物をご提供いただければ、ぎふの木ネット通信の中に同封して会員の皆様にお送りします。)



ぎふの木ネット協議会



協議会事務局:岐阜県羽島郡岐南町みやまち1-3

ヤマガタヤ産業(株)本社内 TEL 058-271-3111